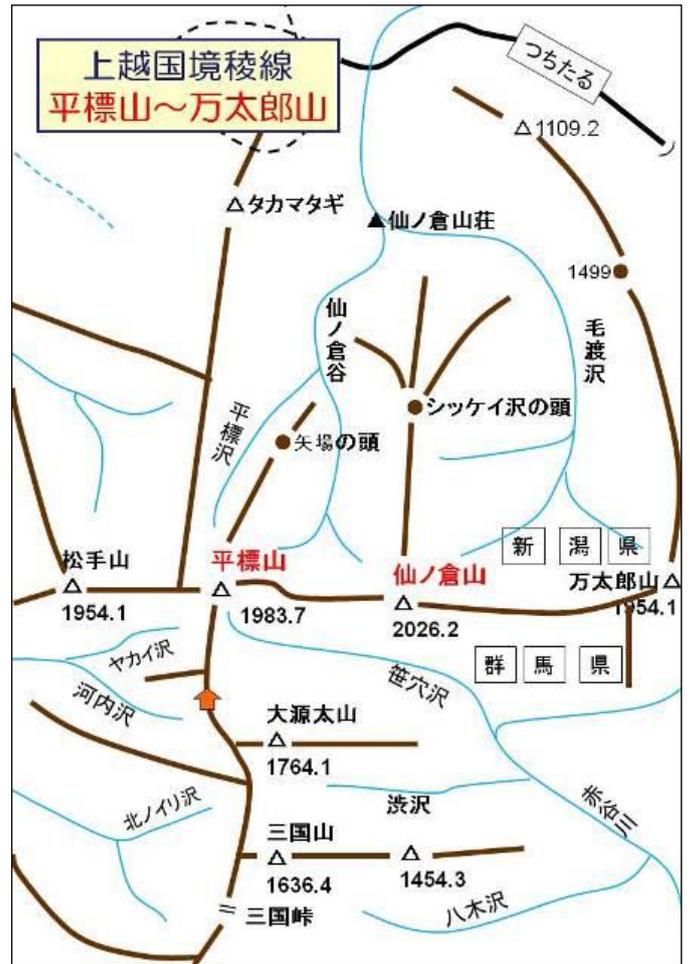


踏み跡 <My Mountains>

上越	元橋から平標山と仙ノ倉山	No.225
----	--------------	--------

夏季休暇の第一弾としてどこか花が見られる山へ行こう、とかみさんを誘った。
平標山を狙い、さらに今まで何度となく悪天候に阻まれた仙ノ倉山のピストンを加えることにした。仙ノ倉山は、単独に土樽から登りつめるよりは平標から往復する方が楽だろうという打算も入ったこと。

平成4年7月16日
天気は曇、6時半に自宅を出発。首都高速・関越自動車道経由で月夜野へ、そして17号線へ。月夜野まで来たら晴れてきた。猿ヶ京でフィルムを購入し元橋の平標山登山口に正午に到着。天気は晴。
駐車場に車を置いて着替えて昼食。
12時44分に出発。河内沢に沿って起伏の少ない林道歩きの後、気持ちの良い林の中。(下の写真)



昔は元橋からのコースは松手山に上がって尾根伝いに平標山に向かうものだったが、今日のコースは歩きやすくして良い。沢沿いの道は楽しみが多い。水は美味しいし、ウド・ワラビ・サルナシ・マタタビ・・・。
林道終点 13時35分、ここから登りが始まる。「平標山の家まで1.5時間」と書いた標識がある。
クマザサの中の急登が終わると目の前に仙ノ倉山とその左に笹穴沢源頭の雪渓、そして見上げると平標山山頂の大きなスロープ。

14時45分に平標山の家に着。標識に書いてある時間よりやや早めに歩けたようだ。

時間的にも体力的にも余裕があるので、ひと休みの後空身で頂上へ行ってみることにした。(上の写真：平標山への登り)



平標山 (1983.7m) 16時20分、小屋から50分の行程だった。三等三角点のある頂上はガスに包まれて三国峠あたりが見える程度の見晴らしだった。

小屋に17時10分に帰着。今日は一泊三食付きの宿泊なので、いつものように夕食の支度に入る必要もない。ゆったりした夕刻のひと時を過ごした。

平成4年7月17日

6時起床、天気は曇。朝食後霧と僅かな風の中を空身で仙ノ倉山へ行くべく7時に出発。

踏み跡 <My Mountains>



平標山の頂上は昨日踏んだので、の中腹を巻く道に行く。仙ノ倉山の登りの途中に素晴らしい花畑がある湿原があった。霧雨と風とで寒くなってきた。

仙ノ倉山（2026m）8時54分、二等三角点。やはり2000mを越える山には特別な風格がある。

エビス大黒あたりまで足を伸ばす腹積もりではあったが、霧雨と風のため中止し、小屋に戻ることにした。（左写真：霧雨の仙ノ倉山）

平標山の家11時、昼食とのんびりした休憩。

11時50分下山開始。林道終点到13時に到着。ここからワラビほか山菜探しをしながら林道歩き。登山口の駐車場所に14時45分帰着。

何度も計画したが雨にたたられて果たせなかった仙ノ倉山、全くもって不運な山だったが、ようやく頂上を踏むことができた。

15分ほどで荷物を片づけて15時に出発。猿ヶ京温泉の三河屋に宿泊。（一泊二食付き6,000円）山の汗を流して温泉気分を満喫。

平成4年7月18日

8時30分出発。山菜・木の実探しの散策として、高原千葉村・川古温泉・赤谷林道・赤谷越林道・無多子沢林道などなど、走っては歩き、走っては歩きを繰り返しながら下界へ。

国道17号線で昼食をとり渋川伊香保から関越自動車道に入り、早めの帰宅。

以上

